

# 四塚

## YOTSUDUKA

理事長鼎談

未来を担う

若者たちへ

日本人の美德とは

川原尚行

高本陽一

井上崇

公益社団法人元年宣言  
美德を持って、行動するJAYCEE  
プロボノで育ち伸びる社会を創ろう

### 公益社団法人宗像青年会議所 2013年度 活動報告



公益社団法人 宗像青年会議所  
Junior Chamber International Japan

<http://www.munakatajci.com>

四塚

2013年 12月号

発行 公益社団法人宗像青年会議所 総務広報課

TEL 0940-39-7166  
ホームページ <http://www.munakatajci.com>

### 青年会議所とは?

青年会議所(JCI)は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの指導者たらしとする青年の団体です。青年は人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。



日本では1949年、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年会議所(商工会議所法制定にともない青年会議所と改名)設立から、日本の青年会議所(JCI)運動は始まりました。共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生し、1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所(日本JCI)が設けられました。現在、日本全国に青年会議所があり、「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。さらには、国際青年会議所(JCI)のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

### 国際青年会議所(JCI)

#### エリアB(アジア・太平洋・中近東地域)

#### 公益社団法人 日本青年会議所

#### 九州地区協議会

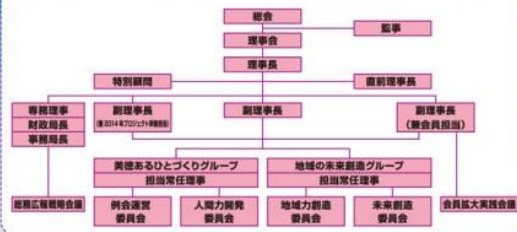
#### 福岡ブロック協議会

#### 第二エリア

#### 公益社団法人 宗像青年会議所

- 社団法人 飯塚青年会議所
- 公益社団法人 国川青年会議所
- 社団法人 直方青年会議所

### 2013年度 公益社団法人 宗像青年会議所 組織図



- 北海道地区協議会
- 東北地区協議会
- 関東地区協議会
- 北陸信越地区協議会
- 東海地区協議会
- 近畿地区協議会
- 中国地区協議会
- 四国地区協議会
- 沖縄地区協議会
- 佐賀ブロック協議会
- 長崎ブロック協議会
- 熊本ブロック協議会
- 大分ブロック協議会
- 宮崎ブロック協議会
- 鹿児島ブロック協議会

エリアA(アフリカ地域) エリアC(北米・中南米地域) エリアD(ヨーロッパ地域)

### 賛助会員様のご紹介

明るい豊かな社会の実現に向けて活動している、公益社団法人宗像青年会議所ご賛助・ご支援いただける賛助会員を募集しております。

 阿部 文晴様 811-0042 福岡市中央区赤坂 1-5-11 092-782-5710 092-782-5711 (FAX)	 岩間 昭彦様 811-4183 宗像市土佐 386 0940-33-0686	 高橋 正徳様 811-3431 宗像市田原 2-8-34 090-9588-0202	 斎藤 健二様 811-3512 宗像市藤崎 219-5 0940-62-2843 62-2843(FAX)
 田中 健一様 株式会社 MCファクトリー 811-3405 宗像市漢志 3-11-4 0940-33-3089	 藤崎 伸二様 カース・フジシマ 811-4154 宗像市富田原 554-1 0940-33-8921	 山口 登美子様 カラオケスタックくるくる 811-4183 宗像市土佐 1-3-26 0940-32-3357 0940-3357 (FAX)	 藤原 康様 カラオケスタックくるくる 811-3505 宗像市島崎 1483 0940-62-1919 0940-62-2069(FAX)
 鍋山 一夫様 グットライフ電馬 811-3431 宗像市田原 2-6-47 0940-36-6230 0940-36-6230(FAX)	 坂田 和雄様 坂田企業グループ 811-3225 藤原市東福岡 3-13-6 0940-42-1664 0940-42-0240(FAX)	 安部 徳子様 末広 811-3503 宗像市牟田原 1860-31 0940-62-0023 0940-62-1089(FAX)	 吉野 久和様 宗像クローバー代行 811-3431 宗像市藤崎 11-24 0940-37-4730 0940-37-4731(FAX)
 松本 康子様 スナックムミン 811-3501 宗像市神津 1242-65 0940-62-2128 0940-62-2437(FAX)	 辻 幸代様 スナック らら 811-3403 宗像市ひかりヶ丘 2-13-13 0940-36-7261 0940-32-6856(FAX)	 合島 典樹様 スナック リバーサイド 811-4146 宗像市赤間 1-8-1 0940-32-8722	 福川 浩一様 宗像平野タクシー株式会社 811-3217 藤原市中央 3-8-11 0940-42-0040 0940-42-8225(FAX)
 須ノ内 茂子様 須ノ内歯科医院 811-3216 藤原市花見ヶ丘 1-1-1 0940-42-0321 0940-42-2654 (FAX)	 茶園 坂 811-3436 宗像市東郷 1-4-18 0940-36-7289 0940-36-7289(FAX)	 山田 美子様 つやぎ海産物ダイニング 811-3304 藤原市津島 2406-12 0940-43-8005 0940-52-0266(FAX)	 高島 浩一様 つやぎ海産物 豊と海 811-3304 藤原市津島 4-47-18 0940-52-5001 0940-52-5001(FAX)

# 未来を担う

# 若者たちへ

# 日本人の美德とは

世界を舞台に奉仕活動をおこなう

川原尚行氏の原点とは？

井上 川原さんには本日、我々宗像青年会議所が主管させていただきました宗像市成人式においてご講演いただき、本当にありがとうございました。また、テムザック社長の高本陽一様にもお越しいただきありがとうございます。まず、今日の講演を終わられての感想をお伺いいたします。

川原 講演の中でも話したとおり、私の息子も今年20歳で、新成人になりました。息子や友人に話すように講演させていただきましたが、会場の皆さんにはしっかりと聞いていただきました。話をしていくうちに段々と気合が入ってきました。気持ちの良い講演をさせていただきましたと感じています。

2013年1月13日、宗像市成人式終了後に、講師としてご講演いただきました

認定NPO法人ロシナンテス川原尚行理事長と  
公益社団法人宗像青年会議所井上崇理事長、  
そして急遽、  
株式会社テムザック代表取締役高本陽一氏にも

ご同席いただきお話を伺いました。

行かれ、東日本大震災の2日後には支援に行かれたわけですが、私たちも宮城県の山元町に行かせていただきました。

川原 素晴らしいですね。我々も山元町に行っていましたよ。

井上 我々が行ったのは震災から3ヶ月後の6月でしたから、炊き出しを中心に支援させていただきました。それとは別に、石巻にも行かせていただきました。そこで質問なのですが、川原さんの「利他の精神」、「美德の精神」の礎になったものは何かお聞かせいただけますでしょうか。

川原 私はラグビーをやっております。ラグビーというのは15人対15人が一つのボールを追いかけ合います。サッカーやバスケット等、一つのボールを追いかけ合います。いろいろな競技がありますが、その中では一番参加人数が多い競技なのです。フィールドに出るとその15人の役割はひとり一人全然違うのです。身体の大い小さい人、背丈の高い人低い人、それぞれに役目があり、それぞれ違ってそれぞれイイです。まあ、金子みすゞさんの詩みたいなこと言っていますが(笑)。そこで、ラグビーの合言葉「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」(ひとりみんなの為に、みんなはひとりの為に)というように、ラグビーの場合チームワークも重要ですが、ひとり一人が助け合うことも必要だと言う事です。そういった精神や姿勢ですつと活動してきたことが根底にあると思います。あと一つは、基本的に僕は滅茶苦茶い加減な奴なんですよ(笑)。色々やってきましたから本当に、社会にも迷惑かけたなあという思いがあった(笑)。罪滅ぼしと言いますか、お返ししなきゃという気持ちがあります。

井上 学生時代にやっていたラグビーでの

経験が生かされているわけですね。また、川原さんの人間性が、子どもたちにも愛される理由の一つだと感じました。

## 個人のスキルを

## 社会貢献に活用する

井上 高本さんには、2011年、宗像JICの例会にてご講演いただいた際、「人の役に立つモノをつくる」という企業理念をお聞かせいただきました。これも人の役に立つ「利他の精神」であると感じております。

ると感じております。

高本 でも、人の役に立ちたいモノは、なかなか買ってくれないんですよ(笑)。だから「商売の精神」でやっております(笑)。

井上 テムザックを創業されて最初の10年は、大変に苦労されたと聞いております。利他の精神なくしては出来なかったと思います。

高本 そんなに美しい精神でも無いですよ、利己の精神かもしれせん(笑)。

井上 2013年は、「プロボノ」というテーマも掲げていただいております。これは「プロボノパブリック」、直訳しますと「公共善のために」という意味になります。私たちは普段、JIC活動をしていく中で様々な経験をさせていただいております。また、自分自身の職業でも色々な経験をし、様々なスキルを持っています。「プロボノ」とは、この個人のスキルを活用し社会貢献をするやり方です。川原さんは、外務省での経験、医師としての経験を存分に發揮して国際協力や東北復興支援をされていると思います。本日の講演でもお話されていましたが、お互いが補完しあえば、ひとり一人が出来ることをしていけば、JICの求めるところの「明るい豊かな社会」に繋がると感じました。

高本 それは、社会起業家としての意味ですか？

井上 例えば昨年で言いますと、九州北部豪雨災害の支援活動に参加させていただきましたが、側溝の泥が溜まっている場合、素人はスコップで一杯ずつ掻き出していくわけです。しかし、そこに土木関係の方が行けば、バキュームであつという間に吸出してしまいますし、現場の指

# 川原尚行

認定NPO法人ロシナンテス理事長

# 高本陽一

株式会社テムザック代表取締役

# 井上崇

公益社団法人宗像青年会議所第39代理理事長

# 理事長 鼎談

示的的確です。支援の内容はそれぞれありますが、それぞれ個人のスキルも生かし、適材適所に、活動を行えばより効果的であるという考え方で。実際、現場に行かせていただいて肌で感じたことですね。

川原 私も東北では、スコップ片手に作業をしていたのですが、ある時、庭師の方が重機を持ってやって来て、全体の指揮を取ってどんどん進めていくわけです。やはり「餅は餅屋だなあ」と感じました。いろんなところを経験するというのもとても大事なことです。専門性を持って、進めることも大切です。あと、先程の利己と利他の話ではないですが、例えば「八百屋さんが野菜を売って生活が成り立つ」これも利己と言えれば利己になるのかもしれませんが、「安心して美味しい野菜を提供していること」これだけで社会貢献が成立していたのです。そこに戻る動きが必要だと思っています。高本さんが冗談で利己の精神でやってきたなんておっしゃいましたが、それ自体大きな目で見れば社会貢献になっているのです。取り立てて「社会貢献」と言わなくても、八百屋さん、肉屋さん、洋服屋さん等々、一生懸命働いて適正な価格で販売していれば、みんな社会貢献しているのです。

井上 なるほど。純粋に相手に喜んでらおうという気持ちでサービスを提供すれば、これに見合う対価は得られるということですね。「仕事」「商売」においての基本だと思えます。

高本 その通りだと思います。自分のやりたいこともありますが、やらなきゃいけないことを一生懸命やることによって、周りの人が助けてくれたり、お金が動いたりして、使っていただけじゃなく、「社会貢献」と言って大風呂敷を広げると大変な気がしますが、人間として当たり前のことをするということが、

## 宗像の将来を担う 若者たちへ

井上 最後に、本日も新成人の前でご講演いただきましたが、これから宗像の将来を担う若者にメッセージを一言いただけますでしょうか。

川原 私は、チーム内でモットーにしたいことがあります。私の個人的なモットーとして「脱げと言われたら、脱ぐ」です。

井上 コツコツ真面目にやるのも大事ですが、バカになる部分も持つておきたいです。出るどころにでたら「やれと言われたら、やります」ということで。まあ「脱げと言われたら、脱ぐ」では見事に却下されてしまいました(笑)。「その部分」をいつも持つておくということです。いつでも「バカにもなれる自分」を持つておくことです。でも普段は、地道に進めていくことです。そうすれば、幅の広い人間になれるのではないかと思います。

## 未来を担う 若者たちへ 日本人の美徳とは

井上 ありがとうございます。では、高本さんから宗像の将来を担う若者にメッセージを一言いただけますでしょうか。

高本 何かをやるろうと決めたら、あきらめないこと。漫画「ワンピース」の中に最近一番好きな言葉がありまして、「奇跡はあきらめない奴の頭上には降ってこない」です。やっぱりそうだろうと思ってしまう。奇跡が起こる前に、あきらめてしまったら、奇跡が降りる隙が無いから。それを信じてやれば、いつか奇跡は皆の身に降りてくるんだらうと思えます。「ワンピース」は世界中で翻訳されていて、ルフィ



川原 尚行 かわはら なおゆき

認定NPO法人ロシナンテス 理事長。1965年9月生まれ。九州大学卒業。外務省、在スーダン日本大使館に医務官兼一等書記官として勤務。2005年1月に辞職後、2006年5月NPO法人「ロシナンテス」を設立、理事長に就任。

高本 陽一 たかもと よういち

1956年2月生まれ。神奈川大学卒業。84年高本商会に入社。91年(株)テムズに社名変更し、代表取締役社長。2000年1月(株)テムザックを設立し、代表取締役社長に就任。

井上 崇 いのうえ たかし

公益社団法人宗像青年会議所 理事長、有限会社ムナカタサービスクリエイト 常務取締役、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議 委員、宗像市社会福祉協議会 評議員、赤間地区コミュニティ運営協議会 アドバイザー委員。

## 強い組織をつくる秘訣とは

井上 宗像JCは「修練・奉仕・友情」という三信条を基に、明るい豊かな社会の実現のために、青少年育成事業や、様々な運動を展開させていたのだと思っています。その事業を進める過程で、楽しいことばかりではなく、自分の未熟さ故に、苦勞をすることも沢山ありますが、苦勞を共にすることによって、切磋琢磨し、互いの信頼関係が強くなっていきます。JCは40歳で卒業なのですが、卒業した先輩方が中心となって昨年、宗像市でも花火大会を開催させていただきました。そこで質問なのですが、「強いチームをつくること」、「強い組織をつくること」の秘訣があればお教えいただきたいと思っています。

高本 川原さんのように、リーダーが明るいことだとします。まずはリーダーが明るくないと組織は成り立ちません。リーダーは明るく可愛げがあることが大事です。特に男性の方が可愛げがあるのが大事です。ですから明るく可愛げがあり強いリーダーが必要なんです。羊の群れを1匹のライオンが支えるのはなんとかなります。しかしライオン100匹の群れを羊1匹ではどうしようもないでしょう。

井上 川原さんは、海外では命の危険を感じる状況で仕事をされているわけですから、明るくというのは大変難しいと思いますが…。

高本 明るさを失わないのがリーダーの条件だと思います。リーダーというのは苦しいことのほうが多いのです。その時にリーダーが苦しい顔をしていたら、周りには全員そう思ってしまうんですよ。苦しい時こそ、リーダーがバカ笑い出来るかで決まるとも思います。社会でも政治でも会社でも、政治でも、先程言われていた宗像JCが行っている青少年育成事業でも、引つ張って進めていくというのは相当大変なことだと思います。でも、その中のリーダーっていうのは、どこか明るいなんだと思います。

の言葉をみんな知っています。海外に行くと「君は日本人だろ、ルフィのこと知ってるかい？」って聞かれるんですよ。ヨーロッパやアジアに行った時は、漫画を知っていると会話が成り立つんですよ。

川原 ハリウッド映画というのは、「正義」と「悪」がいて、戦って正義が勝つんですよ。でもね、質の高い日本の漫画では「悪」の側にも「義」があることをきちんと描いているんですよ。

高本 「スパイダーマン」のようなアメリカのヒーロー物なんかでは、ヒーローが一人いて多くの悪をやっつけるわけですよ。僕らの頭はハリウッドに騙されてきたわけですよ。日本の漫画の「ナルト」や「ワンピース」を見ると、敵にも味方にもグループがあって、グループの英雄同士の友情があるんですが、ハリウッド映画には友情が無いんですよ。「二人のヒーローが生きるか死ぬか」という世界です。あるイギリス人が「日本の漫画を読んで腑に落ちた」と言っていました。「俺たちはハリウッドにだまされていた！」と言って、そのイギリス人と「ワンピース」の話が夜中まで語り合っていましたよ(笑)。ちなみに、フランス人も日本の漫画大好きですよ。日本の漫画を原画のまま読みたいから日本語学校に通っている人も沢山いるらしいです。

川原 スーダン人もそうですよ。学生同士いつも話していますね。

高本 漫画の話をするのがすぐに溶け込めるんですよ。海外に行く時はこつちが漫画のことを知っておかなければいけません。

井上 私たちも海外の青年会議所と交流をしていますけど、その友人から、日本の文化に憧れるとの言葉をよくいただきます。民間外交とは、親日家を増やすことだと考えていますので、今度会う時には、翻訳した漫画をプレゼントしたいと思っています。本日は誠にありがとうございました。

※対談前に、谷井宗像市長と久芳宗像市教育長にも「同席いただき、貴重なお話を伺いました。この場を借りて、深く御礼申し上げます。」

### 3月公開型例会

## 自主防災に生かす避難所運営ワークショップ ～地域防災カパワーアップ～

3月7日(木)、宗像ユリックスにて「自主防災に生かす避難所運営ワークショップ～地域防災カパワーアップ～」を開催いたしました。講師として、日本防災士会の皆さまにお越しいただき、市民の方々と共に、HUG(避難所運営ゲーム)プログラムを行いました。



宗像市や福津市の各地域の拡大地図を広げ、参加者は4～5名ごとの班に分かれ、実際に地震や津波などの災害が起きた際、次から次へと課題が押し寄せる避難所での活動を疑似体験しました。災害発生時に要援者への配慮をしながら、生活空間の確保・プライバシーの確保・対応本部の設置・物資の分配・炊き出し場所の設置・仮設トイレの設置・視察・メディア取材といった出来事に対して、思いのまま意見を出し合ったり、話し合ったりしながら避難所運営を学ぶことが出来ました。

### 4月公開例会

## 異業種交流会～人脈を広げて チャンスを掴もう～

4月7日(日)、宗像大社清明殿にて、(株)清王サービス 代表取締役 上田博和氏(小田原JCOB)を講師としてお招きし、4月公開例会「異業種交流会～人脈を広げてチャンスを掴もう～」を開催いたしました。



100名以上の参加者にお越し頂き、1部では、人生における心構えや志、利他の精神、社会貢献や地域を愛する心など、上田氏の実体験に基づく、お話を熱く語って頂き、仕事や家庭、JC活動などについて、新たな気づきや多くの学びを得ることが出来ました。また、2部では、新たな人脈を広げることに繋がる大変有意義な、交流会を開催することが出来ました。

### 5月公開型例会

## 進化した社会貢献 ～プロボノ/精神溢れる社会へ～

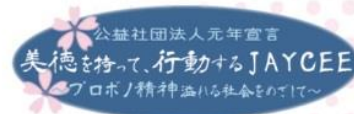
5月7日(木)、福津市「ふくとびあ」にて、講師として、北九州JC第57代理事長そして、NPO法人北九州青年みらい塾代表理事等数多くの役職を歴任されました、松尾孝治先輩にお越し頂き、松尾先輩の実体験に基づく、地元愛に溢れる、先進的で革新的なご講演をして頂きました。



「プロボノ」とは、仕事や社会活動を通じて培った専門的知識やスキル・経験やノウハウなどを生かして社会貢献することを指します。松尾先輩のご講演を通じて、まちづくりを行っていく上で、重要なことは、地域を愛するマインド、継続力、そして行動することであるということをご認識させて頂き、進化した社会貢献の可能性を改めて見出すことが出来ました。

## 公益社団法人宗像青年会議所

# 2013年度活動報告



### 2013年度

## 宗像市成人式

1月13日(日)、宗像ユリックスにて「2013年度 宗像市成人式」を開催いたしました。宗像市市民サービス協働化提案制度4期目となる今年度も宗像青年会議所が主管させて頂き、約800人の新成人の皆様にご参加頂きました。

当日は新成人への講演に、講師として認定NPO法人ロシナンテス川原尚行理事長をお招きし、川原氏のスーダンや東日本大震災時の活動内容を、写真を交えながらご紹介頂き、新成人に美徳の精神に基づいた大人としての自覚と責任を認識できる機会を提供しました。



### 2013年度

## 新春祝賀会

1月17日(木)、玄海ロイヤルホテルにて当青年会議所の新春祝賀会を開催いたしました。当日は、宗像・福津両市長初め、多くのご来賓の方々にご出席頂きました。井上理事長による所信表明によって、2013年度の活動方針を地域の方々に発表させて頂きました。



### 福津市長選挙直前！ローカル・マニフェスト型

## 公開討論会

1月23日(水)、福津市長選挙に伴い福津市中央公民館ホールにて、「ローカル・マニフェスト型公開討論会～有権者の責任と選択～」を開催いたしました。

パネリストに福津市長選挙立候補予定者をお迎えし、政策(行財政改革、雇用・地域経済、子育て・教育、高齢者福祉、防犯・防災など)について、コーディネーターの神吉信之氏(ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州代表)にご協力頂き確認いたしました。

当日は、有権者のみならず、未来を担う若い世代も含め、440名を超える市民の方々に越し頂きまちづくりに対する参加意識の向上に繋がりました。



## 第10期宗像少年会議所



### 開校式

5月26日(日)、宗像大社にて、「第10期宗像少年会議所開校式」を開催いたしました。  
当日は開校式前に、まずは本殿に参拝させていただきました。その際、御神職様より、鳥居のくぐり方や参道の歩き方、手水舎での作法、宗像大社及び神社・神宮の歴史、本殿前での参拝の作法など、ご教授頂きました。



参拝終了後、厳肅な雰囲気の中、宗像大社清明殿にて開校式を開催し、我々宗像JCメンバーも少年会議所メンバーと一緒に、目的意識を高めるレクリエーションに参加いたしました。

### 宗像少年会議所創立10周年記念事業 ～フレンドシップキャンプ～

7月27日～28日、福津市の大峰山キャンプ場にて、「宗像少年会議所創立10周年記念事業～フレンドシップキャンプ～」を開催いたしました。

宗像・福津近郊の小学生を中心に、東北の子ども達にもご参加いただきました。

今回のキャンプも、宗像少年会議所メンバーが子ども達のリーダーをしっかりと務めました。

子ども達と共に過ごす1泊2日のキャンプ生活を通じて、「ただ楽しいだけのキャンプ」ではなく、遊びや食事の中からも、規律や役割分担などの大切さを学びました。



### 夢未来アート

9月16日(祝)、福岡海岸にて、福岡教育大学美術科との共催事業として、「夢未来アート」を開催いたしました。高さ1m、全長135mの壁へ、各自おもしろい夢あふれる未来へのアートを描きました。



### 閉校式

11月3日(日)、宗像市の浄徳寺幼稚園ホールにて「第10期宗像少年会議所閉校式」を開催いたしました。

今年一年間の活動報告を行い、少年メンバーより活動の思い出や、感想を話していただきました。

来年以降も本年までの活動を生かして、子どもたちに目的意識を持たせ、我々大人の熱い情熱と責任ある行動を通じて、礼節や美徳の精神を育み、そして美徳の精神を持って行動することが出来る次世代リーダー育成をめざしてまいります。



## むなかた三女神記

### 博多どんたく港まつり 特設ステージ及びパレード出演

5月3日(祝)、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録推進活動の一環として、「むなかた三女神記」のPR公演で博多どんたく港まつりに参加させて頂きました。



午後からのパレードでは、子ども達と共に保護者の方々にも衣裳に着替えてご参加いただき、呉服町から天神のアクロス前までの1,270mを一緒に歩きました。子ども達は、歌い踊りながら行進し、沿道の声援に手を振って元気に応えました。

### 大島公演



8月7日～9日まで、大島にて夏合宿を行いました。今年は新たに、「むなかた三女神記」大島物語公演を公益社団法人宗像青年会議所主催にて開催させていただきました。当日は、大島の子ども達や校長先生にも出演していただき、世界遺産登録推進の気運向上に繋がりました。



### 「むなかた三女神記 第3章～野を駆ける夢の風～」

9月14日(土)「むなかた三女神記 第3章～野を駆ける夢の風～」の公演が、宗像ユリックスイベントホールにて開催されました。

「むなかた三女神記」は、世界遺産登録をめざす「宗像・沖ノ島と関連遺産群」を題材に制作され、2009年の宗像青年会議所の35周年事業として企画された市民参加型ミュージカルです。

2010年からは「宗像・沖ノ島世界遺産市民の会」の主催事業なり、おかげさまで、今回で5回目の公演を迎えることができました。



出演者の子ども達は、本番公演を迎える迄の5ヶ月間、土日や夏休みも返上した過密スケジュールの中、何百時間もの厳しい稽古を乗り越えてきました。

来年以降も、この「むなかた三女神記」の公演を通して市民の皆さまに、あらためて宗像の魅力や素晴らしさを再認識していただくことで、世界遺産登録を推進して参ります。

# その他の事業・活動

## ◆主催事業◆

- ・第2エリア (藤塚・西方・田川・宗像) 合同例会
- ・韓国昌原JCとの交流
- ・11月承認証伝達記念例会
- ・12月卒業例会



## ◆活動◆

- ・みあれ祭前夜祭 花火大会
- ・笑顔デザインプロジェクト (東北支援事業)
- ・OTONANOSENKA運動の実践
- ・青色防犯パトロール活動
- ・「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録推進
- ・留学生との国際交流
- ・宗像大社「菊花展」搬入奉仕作業
- ・釣川クリーン作戦

## 6月公開例会

### 宗像、ブランド化計画。 ～地域の誇りがブランドになる～



当日は、宗像大社様、宗像市役所様、道の駅むなかた様、海の道むなかた館様からパネリストをお招きし、「宗像ブランド」をテーマに、宗像地域の魅力や、その魅力を生かしたまちづくりについて、お話をいただきました。この事業を通じて、改めて、宗像地域の魅力を再発見し、宗像地域に誇りを持つことが出来ました。

6月7日(金)、宗像エリックスにて「宗像、ブランド化計画。～地域の誇りがブランドになる～」を開催いたしました。100名以上の方々にお越し頂き、地域のたからである、まちのアイデンティティを生かした、地域ブランドの向上を目的とした事業を通じて、「宗像ブランド」の向上を図りました。



## 7月例会

### 日本人の美徳の精神～美徳を持って、 行動するJAYCEEになろう～

7月8日(月)、宗像青年会議所 大会議室にて「日本人の美徳の精神～美徳を持って、行動する」JAYCEEになろう～」を開催いたしました。

日本人に受け継がれる美徳の精神について、例会運営委員会メンバーが講師を務め、プレゼンテーションを行いました。



宗像青年会議所の創設に深く関わった宗像が生んだ偉人、出光興産の創業者 出光佐三氏の、生い立ちからの略歴を辿り、「大家族主義」「人間尊重」「互譲互助」といった言葉に想いを込め、和を重んじ正々堂々と生きたその人生から美徳の精神を学びました。例会を通じて、日本人の根底に流れる素晴らしい精神文化を再認識することが出来ました。

## 10月公開例会

### まちづくりワールドカフェ ～あなたがつくる地域の未来～



10月9日(水) 公益社団法人宗像青年会議所10月公開例会「まちづくりワールドカフェ～あなたがつくる地域の未来!～」を開催いたしました。今回は、国立法政大学福岡教育学部との共催のもと、福岡養育大学学生会館1階食堂セラーにて、大学生をはじめ一般市民の方々、宗像・福津の両市議会議員の方々など、我々宗像JCメンバーを含め100名以上のご参加をいただきました。

どのテーブルも、ご参加いただいた皆さんが楽しそうに、宗像の未来のまちづくりについて語り合っていたいただき、一人ひとりが明日の宗像を考え、常に意識しながら日々の行動をすることが大切であると感じていただくことができました。



公益社団法人 宗像青年会議所  
2013年度  
第39代理事長  
井上 崇

公益社団法人宗像青年会議所(宗像JC)は、宗像が生んだ偉人、出光興産株式会社の創業者、出光佐三氏の呼びかけにより、当時の青年有志が集い「我々は将来の宗像の礎(いしずえ)になろう」と奮起し、10年間の準備期間を経て1975年に設立されました。それから39年の歴史を重ね、公益社団法人に移行し、本年度より公益社団法人宗像青年会議所として、より一層公共の利益に資する、社会の負託に応え続ける団体をめざし、新たな一歩を踏み出しました。本年度は、「美徳を持って、行動する」JAYCEE～プロボ/精神溢れる社会をめざして～」をスローガンに、様々な「まちづくり事業」「ひとづくり事業」を展開してまいりました。まちづくりを行っていく上で大切なことは、日本人の誇りともいえる「美徳の精神」を持って、まずは、自らが率先して行動し、ひとりでも多くの仲間と共に、当事者意識を持って、主体的に行っていくことが重要であると考えます。

今後も宗像JCでは、様々な「まちづくり事業」「ひとづくり事業」を展開していく所存です。結びに、本年度、各種事業を展開させて頂くにあたり、ご協力頂きました全ての皆様に心より感謝申し上げます。一年間、本当に有難うございました。

※プロボとは、仕事や社会活動を通じて培った専門的知識やスキル・経験やノウハウなどを生かして 社会貢献すること



公益社団法人 宗像青年会議所  
2014年度  
第40代理事長予定者  
横山 誠

2014年度は「Starting Over～伝統に学び、新たな一歩を踏み出そう～」をスローガンに、今日まで先輩たちが築き上げた伝統をしっかりと学び、未来を創造するJAYCEEがともに研鑽しながら、地域に必要とされるJC運動を展開して参ります。

そして、宗像JCは創立40周年という節目の年を迎えると共に3度目の主管となる福岡ブロック大会を開催します。福岡ブロック大会では公益社団法人として、県益、地域益等を兼ね備え、行政、地域の皆様と一体となり、主催者である公益社団法人日本青年会議所九州地区福岡ブロック協議会のJC運動の発信、また、大会を通じて主管する私たちの故郷、宗像地域の魅力を発信、そして福岡県と宗像地域が推進する「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録の機運を高める機会として参ります。

これからも宗像JCは明るい豊かな宗像地域の実現の為、先輩方が築き上げた伝統あるこの宗像JCで多くの運動が行える事に対する感謝、また関係する全ての方々を支えて頂き今を生かされている事への感謝の気持ちを忘れず、JC運動に邁進して参りますので、今後ともご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

※JAYCEEとは、青年会議所会員個人のこと